

ライフサイエンス及び宇宙医学分野の
国際宇宙ステーション利用研究テーマの国際公募について

平成11年8月27日
宇宙開発事業団

1. 公募の目的及び概要

ライフサイエンス及び宇宙医学分野の国際公募（以下、「国際ライフサイエンス公募」という）は、国際宇宙ステーションにおけるライフサイエンス及び宇宙医学分野の宇宙実験の提案を国際的に募集、選定し、国際宇宙ステーションの限られた実験装置及びリソースを効率的に利用して最大限の科学的成果を得ることを目的としている。

この公募の運営は、米国、欧州、カナダ、日本の宇宙機関の代表者によって構成される国際ライフサイエンス戦略会合にて行われ、本年4月末に開催された会合で、NASAより今回の国際公募のスケジュール等について、提案が行われた。

平成11年（1999年）の公募は、本年8月31日から開始され、宇宙開発事業団もこれに参加する。

宇宙実験の提案テーマの募集・受付は、国際ライフサイエンス公募に参加する各国の宇宙機関（以下、「参加機関」という）が個別に行い、評価・選定は、国際パネルにより統一的に行われる。また、参加者は、参加機関が提供する実験装置を使用することが出来る。

2. 参加機関

米国航空宇宙局（NASA）、欧州宇宙機関（ESA）、カナダ宇宙庁（CSA）、フランス国立宇宙研究センター（CNES）、ドイツ航空宇宙センター（DLR）、
宇宙開発事業団

3. 1999年公募の要綱

(1) 募集の対象

ライフサイエンス及び宇宙医学分野の宇宙実験の提案テーマを募集する。

なお、選定された公募テーマの実施対象期間としては、平成15年（2003年）中旬から国際宇宙ステーションの組立完了までの間、日本の実験棟「きぼう（JEM）」を含む初期の国際宇宙ステーションが対象となる。

(2) 応募資格

提案する宇宙実験を実施出来る能力を持った者。

提案者の国籍及び所属機関の所在地は問わない。

(3) 応募受付期間

受付開始 : 平成11年 8月31日(火)
仮申込書提出期限 : 平成11年10月 8日(金) 国内事務局必着
講習会 : 平成11年10月中旬頃
提案書提出期限 : 平成11年11月22日(月) 国内事務局必着

なお、応募書類の確認を希望される方は、平成11年11月5日(金)までに国内事務局へ応募書類を提出してもらい、科学評価経験者等によるレビュー、技術評価及び書式のチェックを行い、提案者へ回答。提案者は、必要に応じ書類を修正し、12月1日(水)までに提出する。

(4) 選定プロセス

○参加機関による各国別予備選考

[平成11年11月5日から11月30日]

(応募書類の内、国際公募の適用範囲から外れている内容については、事務局にて除外し、その旨提案者へ連絡する。)

○各国の研究者から構成される分野別の国際評価パネルによる科学評価

[平成12年1月から2月]

○装置提供機関及び利用機関が中心となって行う搭載性の技術評価

[平成12年2月から4月]

○参加機関による各国別再評価

[平成12年4月]

(生物／バイオメディカル及び医学分野の宇宙環境利用研究シナリオ及び予算措置の可否等により、宇宙環境利用研究委員会にて優先順位を付ける。)

○宇宙実験候補テーマの選定

[平成12年5月]

(国際テーマ選定委員会にて、各国の再評価の結果およびリソース等を基に宇宙実験候補テーマの選定を行う。)

(5) 予算

宇宙開発事業団に提案され選定された公募テーマの実験に係る経費(実験準備、実験後解析等の地上研究を含む。)の負担については、テーマ提案者の所属機関と宇宙開発事業団が調整して決定する。なお、所属機関が日本国外の場合、宇宙開発事業団は実験に係る経費を負担しない。

4. 宇宙開発事業団が提供する実験装置

- (1) 細胞培養装置 (CBEF)
- (2) クリーンベンチ (CB)
- (3) 画像取得処置装置 (IPU)
- (4) リアルタイム放射線モニタリング装置 (RRMD)

5. 国内事務局及び公募資料(平成11年8月31日以降、公募資料の発出を行う。)

○国内事務局：(財)日本宇宙フォーラム

TEL: 03-3459-1653

Fax: 03-5470-8426

○公募資料：国内事務局及び以下のホームページから受け取れます。

財)日本宇宙フォーラムホームページ

<http://www.homepage.co.jp/jsforum/lifeao/index.html>

6. 講習会

国際宇宙ステーションの組立機関の制約事項及び応募書類の記載方法の講習会を10月中旬に東京地区で行う。

以上